

▶ 第5章

新しい構想が必要とされる南北経済関係

——韓国文政権の挫折と尹政権の対北政策

日本経済研究センター特任研究員 帝京大学准教授

李 燦雨

【ポイント】

- ▶ 韓国では2022年5月に尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権が発足した。5年ぶりの保守系政権の登場により、韓国は北朝鮮の非核化を優先し、日米韓の協力体制強化を推進する可能性が高くなった。
- ▶ 文在寅（ムン・ジェイン）前政権の朝鮮半島政策は「平和プロセス」という旗の下で韓国が主導しながら朝鮮半島情勢を安定させることで南北間に「平和と共存繁栄」を実現することを目標としていた。しかし、南北交流・協力の追求は北朝鮮の対応変化と国際協調の困難により成果を出せなかった。
- ▶ これからの新しい南北経済関係構想は、①「新冷戦」時代の到来と朝鮮半島における分断固着化という環境変化への対応、②韓国の志向する「民主主義と市場経済」のブロック化への対応、③北朝鮮からの安全保障上の脅威への対応、④朝鮮半島の平和構築を優先させる環境造成——などを取り組んだ構想にならないければなるまい。



注目データ

南北新時代に向かう新しい構想の3つの軸

区分	テーマ	主要内容
第1軸	人の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・相互理解、災害への共同対応 ・生活向上のための知識交流 ・交流のネットワーク構築
第2軸	経済安全保障	<ul style="list-style-type: none"> ・経済安全保障に対応するコントロールシステム構築 ・政治軍事的安保対話を優先 ・国際経済のブロック化への対応（協力と対話）
第3軸	産業と物流協力	<ul style="list-style-type: none"> ・気候、環境など共通のリスクに関する協力 ・産業人材育成の訓練プログラム運営 ・朝鮮半島—海洋—大陸の経済回廊の検討

資料：筆者作成